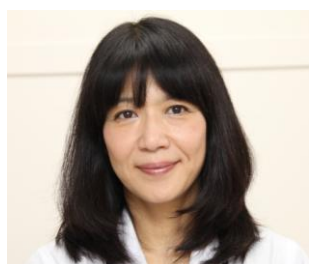




奈良県立医科大学眼科ニュースレター Vol. 4

ご挨拶

教授 緒方奈保子



今年も残すところわずかとなりました。毎年あっという間に年末を迎えるような気がします。ネズミの1日と象の1日の長さは違うという話を聞いた覚えがあります。同じように子供の1日と大人の1日の長さは違うのでしょうか。さらに年齢とともに1日の長さが違ってくるのでしょうか。

今年はいPS細胞の山中教授のノーベル賞受賞で日本は大きく湧きました。数年前に日本眼科学会総会で山中教授の招待講演を拝聴した記憶があります。4つの因子の発見の過程を人にも恵まれ幸運だったというようにお話をされていましたが、幸運だけでこのようなすばらしい実験結果が出るはずもなく、きっとそれは大変なご努力の賜物だったことと思います。しかし、この山中教授のノーベル賞受賞で日本の医学研究分野のレベルの高さが証明されました。またiPS細胞を使った世界で最初のヒトへの治療が日本で、しかも加齢黄斑変性の患者に行われようとしているという事実はわれわれ眼科医に、自分とは関係ないにも関わらず....何か誇らしい気持ちをもたせてくれます。近年、研究をしようとする若手医師が少なくなっているといわれますが、このようなニュースが若手医師の研究への関心を高めてくれたらと願います。また眼科への関心が高まり入局者が増えたら!?なんてことも思います。

見るということはとても大事です。白内障手術でも高齢者の手術が増えています。毎週の手術予定表をみても白内障手術の半分は80歳以上ではないでしょうか?もちろん大学病院という特殊性で、高齢であるため近医で手術をいやがられて紹介されてきたという方も多くいらっしゃいますので高齢者がより多くなっているのかもしれませんが。高齢者の見るということへの要求は高まっております、眼科医の需要もまだまだ高まっていくことでしょう。

『みる』ということ

奈医大眼科学教室同窓会 野島誠一



「みる」には、看、見、相、診、観、視、瞰、瞥、察、覧、監、色々漢字があると同様、色々な「みる」という立場があると思います。

私達眼科医は、全身、前眼部、眼底からできるだけ多く情報を集めて「みる」立場です。先日の安川准教授の講演は非常に興味深いものでした。加齢による網

膜の病態解明には、仮説をたて、勿論それは多くの研究、経験の積み重ねに裏付けられたものであり、それをたゆまない努力で実証していかれたものと思います。それは「みえ」ないものを情熱と研究努力によって「みよう」としています。残念ながら私の場合、「みえ」てるものも「みえ」ていませんが！

ところで、それとは全く逆の「みる」立場があります。

大リーグのイチロー選手は裸眼視力はあまり良くなく、渡米する前にCL装用かレーシックかで悩んだ末、CLを試したそうです。CLを装用してバッティングしてみるとあまりにも「みえ」過ぎて情報量が多すぎ、又彼の様な天才的な運動神経を持つとそれら全てに身体が反応してしまい、思い描くバッティングができなかったそうです。彼は裸眼で渡米し、活躍したことは皆さん御存じの通りです。「みよう」とすれば、「みえる」のに、あえて「みない」という立場があります。

前者は客観的、理性的立場であり、後者は主観的、感覚的立場といえるかも知れません。

そこで当院の患者さんの話です。88歳の女性、白内障手術され二カ月振りに再来院され、「先生、手術してもらってよかった。本当に明るくなったわ。でも、こんなん言っているのか分からんけど、鏡をみると私の顔しわくちやなんです。これ薬の副作用でしょうか？」

昔は美人だったかもしれない女性にどのような「みる」立場でお話したらいいでしょう？



トピックス

奈良県眼科万葉フォーラムについて

平成24年7月21日に奈良県橿原市の橿原ロイヤルホテルで第3回奈良県眼科万葉フォーラムが開催されました。今回は特別講演として済生会新潟第二病院眼科部長の安藤伸朗先生にお越し頂き、「糖尿病と眼科ー私たちの治しているのは 眼？こころ？ー」というタイトルでご講演頂きました。講演では視機能の改善による精神的なQOLの変化などについて様々なデータを示され、日常診療ではあまり意識しない分野だけに大変勉強になりました。また11月19日には第4回奈良県眼科万葉フォーラムが開催されました。特別講演として福井大学眼科教授の稲谷大先生が「続発緑内障の手術治療」について、また熊本大学眼科教授の谷原秀信先生が「原発閉塞隅角緑内障と原発開放隅角緑内障ー治療の最前線を探るー」というタイトルでご講演されました。緑内障を専門とされているお二人の教授に、続発性と原発性に内容を分けてご講演頂き、それぞれの病態や治療についての知識が大変深まりました。

第3回、第4回ともにたくさんの先生方にご参加頂き、誠に有難うございました。第5回は平成25年4月20日に予定していますので、引き続きご参加のほどよろしくお願い申し上げます。



安藤先生と懇親会にて



講演中の稲谷先生



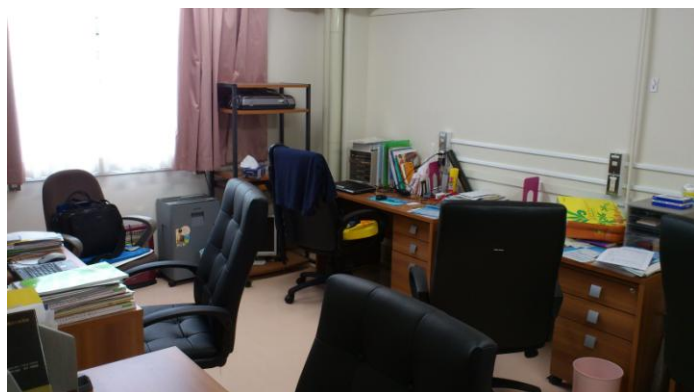
講演中の谷原先生

Nara Ocular Surface and Infection の会について

平成24年9月22日に橿原ロイヤルホテルで、第1回 Nara Ocular Surface and Infection (NOSI) の会が開催されました。NOSI の会は角結膜疾患などの眼表面疾患や眼感染症についてご高名な先生に講師としてお越し頂き、基礎的なところから学んでいこうというスタンスの会です。今回は慶應義塾大学附属病院眼科の川北哲也先生にお越し頂き、角膜疾患に対する外科的治療や内科的治療について講演をして頂きました。臨床的な話題だけでなく、基礎的な研究についても言及され、非常に有意義な会となりました。今回は第1回目ということもあり、セミクローズの形式で行いましたが、今後はオープンな会とさせて頂く予定ですのでご参加のほどよろしくお願ひ申し上げます。

研究室の改装について

緒方教授就任以降、臨床研究棟の眼科研究室の改装を行っています。建物自体は昭和38年に建築されているため、構造的には老朽化が進んでいますが、部屋の中は床や机、カーテンなども新しくなり、とても過ごしやすい環境となっています。さらに、これまで物置のような状態であった研究室も実験室へ改装し、現在は組換えDNAに関連した実験も可能なP1実験室として使用できるように申請を行っています。今後はこのP1実験室を使用して、これまであまり行うことが出来なかった基礎的な分野の研究を行っていく予定です。諸先生方もぜひ一度新しくなった研究室を見に来て頂けたらと、医局員一同心よりお待ち申し上げております。



P1 実験室として申請中の研究室

新規開業の紹介

湯川英一先生（平成4年奈良医大卒）

このたび奈良県立医科大学を卒業後より、住み慣れた町であり、また妻の地元でもある広陵町に平成24年5月8日、ゆかわ眼科クリニックを開院させていただきました。

当院は現在、私以外にORT3名とスタッフ8名が勤務しており、常にORT1名とスタッフ4名が在院し診療にあたっております。また白内障手術と緑内障手術については毎週木曜日に医大の関連病院である服部記念病院にて行なわせていただいております。

これまで広陵町には眼科がなかったこともあり、今後は広陵町や他科ドクターとも連携しながら、3歳児検診はもちろん、中途失明の上位を占めております緑内障検診や糖尿病網膜症などの啓蒙活動にも力を入れていきたいと思っております。さらに奈良県立医科大学眼科学教室には引き続き非常勤講師として在籍させていただいており、これからも大学病院や関連病院とも十分な連携をとりながら、地域医療に貢献できるよう日々努力いたすつもりです。どうぞこれからもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。



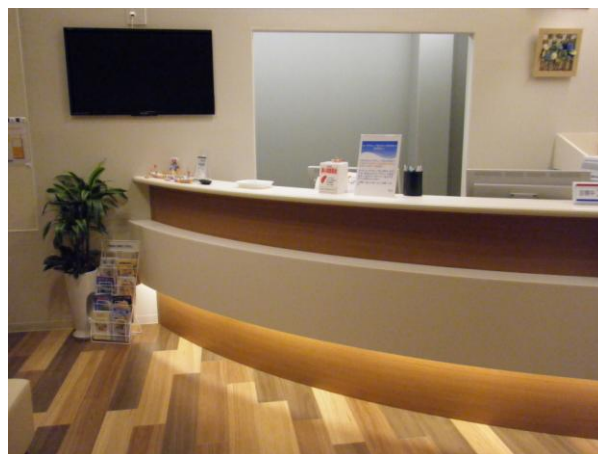
増田紀子先生（平成5年奈良医大卒）

このたび、7月11日より眼科医院を開院致しました増田です。

開院にあたって、この医局員不足のなか緒方教授、医局の先生方にご迷惑をおかけしたにもかかわらず、親身に相談にのっていただきました。また、同窓生の先生方にもいろいろご指導いただきました。大変感謝しております。

勤務医時代は、奈良医大および町立大淀病院どちらも長く在籍しておりました。大学勤務の時にはいろんな先生方に診療や手術のご指導をいただいたり、また、同年代の先生方とすごしたりした時間が懐かしく思われます。町立大淀病院時代は、同僚にめぐまれ支えていただきました。

開院して、まだ数か月と日が浅いですが、毎日が戸惑いの連続で、今は日々の事柄を確実にこなしていこうと思っています。まだまだ未熟者ですので、諸先生方、今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。



ホームページが新しくなりました！

この度、奈良県立医科大学眼科学教室のホームページが新しくなりました。URLは <http://www.naramed-u.ac.jp/~oph/index.html> です。勉強会の情報なども適宜更新していく予定ですので、お時間がありましたらご覧下さい。

奈良県立医科大学
眼科学教室 Department of Ophthalmology Nara Medical University

HOME 眼科医局について 入局案内 研究テーマ 患者さんへ 関連施設

奈良県立医科大学
眼科学教室
Department of Ophthalmology
Nara Medical University
奈良県立医科大学 眼科学教室

奈良県立医大 眼科外来診察表

	月	火	水	木	金
1 診	松浦	上田	交代制	緒方	交代制
2 診	丸岡	岡本	専門外来	大萩	専門外来
3 診	西野	西		峯	
4 診	林	長谷川		小林	
5 診	山下	宮田 (旧姓下山)		増田	

専門外来は完全予約制です。

初診の場合はまず、月・火・木の外来を受診するようお願い致します。

また水・金も地域連携の予約が2名可能となっております。

平成24年度 眼科教室同窓会講演会 プログラム

【特別講演】 16:30~18:00

「3i 診療のすすめ 角膜内皮障害について」

京都府立医科大学 眼科学教室
教授 木下 茂 先生

共催 奈良県立医科大学眼科同窓会 千寿製薬株式会社

※講演の後に3F明日香の間にて懇親会を予定しております